

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

ひとい木

◆自己評価 事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7			9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	4	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	3			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	2	1	2	9

できている点	ケアマネを中心として、利用開始前にしっかりと時間をかけた面談ができ、情報やニーズの聞き取りが行えている。ケア会議やビジネスチャットを活用した事前の情報共有や、口頭での申し送りなどが適宜行われている。本人・家族共に、しっかりとコミュニケーションを図り、不安を取り除けるような配慮ができています。
--------	--

できていない点	勤務形態によっては、家族や介護者と関わる機会が持てず、関係作りができていないと感じているスタッフがいる。 定例ミーティングが実施できておらず、サービス利用開始前に、細かい情報共有ができていない。(ビジネスチャットでの共有はできている)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	各職員における初回訪問は、同行訪問による対応を行うだけでなく、自宅の環境等を動画に収めるなど、情報共有方法工夫する
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？		7	2		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	2		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	5	3		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	1		9

できている点	事業所全体で「自宅で過ごす時間を大切にする」という目標の元、在宅での時間をどう担保するかを考えることができている。利用者が「どのように生活したいか」を意識してケアを考えることができおり、出来そうなことや興味のあることを意識的に提供している。ケア会議で、日々のかかわりの良い点や問題点などの意見を出し合い、アップデートしている。
--------	---

できていない点	利用者さんの状態によっては、「～したい」を聞き取ることが難しい方もみえ、目標を明確化することができないケースもあった。スタッフ全員が意識できているとは言い難く、職員間の共有が不十分であった部分もあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	各職員が利用者さんの「～したい」を聞き取るために、聞いた情報を職員が自由に手書きで記入できる場所を設ける。(案：利用者さんの各ファイルに用紙を入れる) また、ビジネスチャットにて利用者さんの「やりたい」ことを共有していく場を作っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 4 月 30 日 (火)

3. 日常生活の支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	5		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	5	1		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8	1		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6			9

できている点	利用者さんの自宅での生活をイメージし、本人が話したことなどを職員間で共有し、生活に合わせたケアができています。各職種が専門性を活かして情報共有ができています。利用者さんに変化があった時の対応は早く、体調管理などに繋がっている。基本的にスタッフ同士のコミュニケーションは良好に保っている。
--------	---

できていない点	まだまだ聞き取れていない情報がある。シフト制の勤務であることと、職員個々の利用者さんに関わる力や介護技術にも差があるため、全体で統一したケアが行えているわけではない。ケア会議が月1回しか行えておらず、もう少し頻度を多くできると良い。(ビジネスチャットで補ってはいる)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	全体で統一したケアを行うために、職員同士の情報の共有の場や利用者さんの目標を話し合う場が必要である。そのため、週1回(参加率の高い月・水・木曜日)、15分~20分程度のケア会議を行う。ケア会議では利用者さんの目標を決めることから行い、目標決定後に具体的なケアの方法を話し合っていく。また、ノートを作ってケア会議録も作成していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	3		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3	2	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	1	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	4	3	9

できている点	
送迎や訪問時に、意識的に家族の話を聞くようにしている。利用者さんとの会話を通して、過ごし方や活動範囲の把握ができるよう努力している。本人が続けてきた生活スタイルを崩さないよう、支援することを心がけている。	

できていない点	
まだ聞き取りが不十分なケースもあり、事業所が関わっていない時間帯の過ごし方まで把握ができていない人もいる。学ぶ機会を作っていないこともあり、事業所全体の傾向として、地域の社会資源の理解が乏しい。まだ開設したばかりであるため、事業所内の活動に目が行ってしまいがち。地域にまで視点を向ける余裕がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	
長良地域の社会資源の理解が乏しいことから、自主的に勉強会を行い理解に繋げていく。また、地域包括支援センターに伺うことや、長良地区で開催されているサロンなどに参加をすることで、知見を広げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	3	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4		2	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	3	1		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	4	1		9

できている点	日々の変化は、ビジネスチャットでの申し送りを活用し、細かくリアルタイムで情報共有できている。突発的な相談も含め、体調や状況に合わせた柔軟なサービス変更や、個性のあるサービス提供が行えている。
--------	---

できていない点	地域へ出向いていく時間が確保できず、社会資源の活用があまりできていない。
---------	--------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	当事業所のサービスだけでなく地域の資源を使って支援を行っていくために、少しずつ関わりを持ち始めているスーパーや薬局などに声掛けをしていき、そこから活動の場を広げていく。当事業所だけで支援を完結せず、長良地域の中の一事業所として支えていける体制を構築していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

6. 連携・協働

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	2	1	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	3	4	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1		3	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	3	1	9

できている点	退院カンファレンスやサービス担当者会議など、頻回に他のサービス機関との会議は行えている。利用者さんが、地域の方に向けた手作り活動 (ビブス・新聞エコバック作りなど) を行うことで、地域と繋がりを持つことができている。毎週、地域の高齢の方がボランティアに来て下さっている。
--------	---

できていない点	他の団体など地域のイベントなどについて知識がないこともあり、町内会や婦人会など地域の活動には全く参加できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	町内会などの地域の活動に参加してみたいが、地域の情報や参加方法が分からない。自治会や民生委員の方をお願いをして、地域の集まりに参画できるか相談していく。参加が可能であれば、計画や立案を立てていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

7. 運営

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	5	1		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	3	2	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	5	1	1	9

できている点	事業所外からの意見を反映した上で、どんな事業所でありたいか、どんな方針でサービスを提供したいかなどについては、職員同士意見が言いやすい環境となっている。道向かいのドラッグストアの協力の元、新聞エコバックを利用者さんに作成してもらい、地域の方に提供させてもらっている。
--------	---

できていない点	開設後間がないため、地域の方の認知度が低く、ご意見を頂戴することが少ない。利用者さんや家族と日々の会話を通して意見を聞くことはあるが、何かしらの意見徴収する手段があっても良いかもしれない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	当事業所はまだまだ地域の認知度が低い。認知度を高め、地域に必要とされる拠点となるために、「ひと木」という場所が地域の方にとって気軽に足を運べるよう場所になるような戦略を立てていく。そのため、長良地域の子どもから年配の方まで気軽に参加ができるようなカフェなどの開催の検討をしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	2	1	2	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	1	3	9
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5		2	9

できている点	
同法人の他事業所へ研修に行きスキルアップを図る機会があったり、法人内で随時研修が実施されている。	

できていない点	
法人内の研修に参加する機会はあるが、職場外の研修参加をしている職員は少ない。自身の専門性を磨く機会が持てていない。	

次回までの具体的な改善計画	
サービスの質を向上していくため、介助方法の統一を図る。介助方法の統一のために、リハ職を中心として、直接的な動作指導やビデオ撮影による介助方法の提示を行う。また、利用者さんの目標を明確にすることにより、目標を意識した介助をそれぞれが行えるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年 4月 30日 (火)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9				9
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	7	2			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	2	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4			9

できている点	
事業所スタッフの意識は高く、身体拘束・虐待は行われていない。利用者さんの尊厳を守る意識を、常に持って関わられるよう心がけている。可能な限り、同性介助が行えないかなども検討している。	

できていない点	
成年後見制度の活用については、現在該当者がおらず行っていない。ほとんどのスタッフが、制度の理解もできてはいない。	

次回までの具体的な改善計画	
身体拘束・虐待などの研修の参加を行う。また、支援の中でも個人情報が漏れてしまう危険性もある。利用者さんとのコミュニケーションや提供する資料などに注意をして、利用者さんと関わっていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団友愛会	代表者	岩砂 智丈	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法人であることを活かし、看護師・理学療法士を配置し、自立支援のためのケア体制が整っている。 ・地域に向けての活動などに力を入れており、利用者さんがお世話をされる対象ではなく、活躍できる場となるよう日々の活動を行っている。 ・在宅生活を支えるための、柔軟なサービス調整・提供を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ひとい木	管理者	伊藤 直美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	3人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんで回答されているのが、よく分かった。 ・実際に薬局で新聞エコバックを見たりすると、自己評価に書かれていることに現実味があるなど感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で統一したケアを行うために、週1回ケア会議を行う ・自治会や民生委員の協力を得て、地域行事等に参加する ・リハ職から介助方法の指導を受け、ケア方法を統一する
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所があることは知っていても、きっかけがないとなかなか入りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の案内をフェンスに設置し地域の方にお知らせする ・適切な温度設定・感染対策を講じることで、過ごしやすい環境設定をする
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの受入れを行い、地域の方が活躍できる場にしていくとよい ・自治連合会長・民生委員会会長・老人クラブ会長など、身近なところから繋がれるといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と一緒に、地域で開催されるサロン等へ参加する ・地域住民が気軽に足を運べる場所になるよう、定期的に地域住民参加型のカフェを開催する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を交えて会議とかはハードルが高いので、民生委員などと繋がることで、地域の方と支えることになるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に応じて、民生委員や近隣のお店・住民の力も借りながら、利用者の在宅生活を支援していく

E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で専門職の役割説明や、事例の紹介などを行い、当事業所のサービスのイメージを具体的に持っていただけるようにする
F. 事業所の 防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の受け入れ可能な範囲があると思うので、何ができるのかを発信してもらった方が分かりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の防災訓練に地域住民の参加を呼びかけ、当事業所の対策などについて理解を深めていただく ・地域の防災訓練に参加することで、地域の方がどんな役割を事業所に求めているのかを知る